

# 第 24 回 総会文書

2017 年 11 月 15 日公布

愛は



すべてを与える

# 第 24 回総会指針

## 愛はすべてを与える\*

私たちノートルダム教育修道女会会員は、イエス・キリストが「1つにする」ために遣わされたように、全生涯を賭けます。全被造界と人類の聖なる歴史のこの重要な転換期にあたり、私たちは信頼と勇気を生きる私たちの深い望みを聴きました。（Y A S ; 会憲 4）

- 私たちは、福音的清貧を自分のものとして受け止め、その深い意味を探り、私たち自身が変わられるように進んで心を開きます。（Y A S ; 会憲 15-17、一般指針 19）
- 私たちは、三位の神、互い同士、神が創造された驚きに満ちた宇宙との関係において、特に三位一体の神に関する神学的省察を通して、自分たちが何者であるかの意識を深めます。（Y A S ; 会憲 12）
- 私たちは、私たちの真の共同生活が多様性の一致と神の民への奉仕を預言的に証するものであることを断言します。（Y A S ; 会憲 7-9）
- 私たちは、多文化共生（インターカルチュラリティ）の理解を広げ、共同体と社会の中で多文化の現実を生きる力を培うことに献身します。（Y A S ; 一般指針 36）

- 私たちはグローバリゼーションとテクノロジーに影響を受け、急速に変化する世界において教育者として全く新たな応答をします。(Y A S ; 序文、会憲 22-24、26)
- 私たちは命の尊厳を守り、被造界を大切にするために他者と協働し、教育に携わり、声をあげ、行動します。  
(Y A S ; 会憲 9、17、一般指針 19)
- 私たちは、どの緊急で重要な世界の問題に取り組むかを会として識別し、思いもよらない方法で大胆かつ勇敢に応えます。  
(Y A S ; 会憲 17、一般指針 36-38)

三位の神は私たちに、平和、希望、愛の女性として世界の心を心とするようにと強く促します。福者マリアテレジアとマザーキャロラインの精神をもって、私たち生きた共同体は、Y A S に従いカリスマを発展させ続けます。(Y A S ; 序文)

福者マリアテレジアの手紙 # 1  
2017 年 10 月 24 日承認



# 第 24 回総会決議事項

## すべてを共有する

私たち第 24 回総会メンバーは、「すべてを共有する」ことの理解を深め、それへの献身を強め、会の将来の生活と使命のために、私たちの間で責任共有を促進することを全会員に呼びかけます。

この呼びかけを自分たちのものとして私たちは以下を実践します。

- 共通善のために、個人、修道院共同体、管区、会として責任ある計画を立て決定します。  
(Y A S ; 会憲16, 一般指針 58, 67, 69, 70)
- 管区の使徒職以外のニーズと国際体験プログラムをサポートするために 2010 年に設置されたゲルハルディングー基金を今後も財政的に援助し続けます。 (Y A S ; 一般指針 58, 67, 69, 70)
- 会の現在と将来の使徒職をサポートするために 1998 年に設置された使徒職基金に財政援助をします。  
(Y A S ; 会憲 23-26, 一般指針 33, 36, 37, 38)
- 総本部運営のために必要な人的援助、財政援助をします。  
(Y A S ; 会憲 16, 19, 一般指針 36)

私たち第24回総会メンバーは、総評議会に以下を提案します。

- 会員の総会への十全な参与と会の生活と使命への責任共有を推進できるような総会のあり方の研究を始める。  
(Y A S ; 会憲 41, 62, 92a, 92b, 95; 一般指針 53, 54, 56, 81, 84)
- 1つの国際会として私たちの協働の努力を強化するために総評議会、管区評議会、財務担当者、養成担当者、会のコミュニケーション/テクノロジーチーム、シャロームネットワーク、その他の  
必要で有益だと思われるグループとの国際会議や集まりを継続/  
新たに始める。 (Y A S ; 会憲 113-115, 一般指針 110-112)
- 管区評議会と協働して全会修練院運営費供与計画を立案する。  
(Y A S ; 会憲 75, 115, 一般指針 108-112)

2017年10月24日

## 共同体における個人の成長

(Y A S ; 会憲 43 - 47 ; 一般指針 1 1 3 - 1 2 4)

私たちは誓願生活が恵みであり各自の責任であることを認識する。(Y A S ; 会憲 6) また、共同体を築くことは、生涯かけての過程であることを認識する。(Y A S ; 会憲 7) 第 24 回総会メンバーは、自分たちが生きている時代に鑑み、各会員に共同体における個人の成長に関する責任を持ち、献身するよう呼びかける。

- 神における「一つの思い、一つの心」というアウグスチヌスの共同体形成のルーツを再発見します。
- 多文化共生を生きる力が必要であるとの意識を培い、その力を伸ばす機会を提供します。
- 会員のために新たな短期文化交流および多文化生活体験プログラムを考案し、実践します。
- 私たちは、個人としても共同体としても、全員が召命促進担当者であることを認識します。(Y A S ; 会憲43、44)

## コミュニケーション/テクノロジー

私たち第 24 回総会メンバーは、2014 年 12 月 20 日付の会のコミュニケーション計画を支持する。私たちは、それを会の中で継続的に実践し発展させる。私たちは、会員の間で、また、使徒職における同僚との間で「修道生活」および「教育ヴィジョン」を促進させるために、コミュニケーション・テクノロジーの批判的かつ責任ある使用方法を模索する。

2017 年 10 月 24 日承認

## 第 25 回総会 総会議員選出 ガイドライン

私たち第 24 回総会メンバーは、会憲に基づき、おおまかな第 25 回総会議員選出 ガイドラインを決定した。

(Y A S ; 会憲 95, 一般指針 85)

- 各管区から職権上の代表を 1 名入れる。
- 管区の代表数は、平等と比例の原理に基づくものとする。

2017 年 10 月 24 日承認

## 総評議会(2018年～2024年)の構成

(Y A S ; 会憲 101、一般指針 101)

総評議会は、総長と5名の評議員で構成されるものとする。

2017年10月24日承認

## 2018年～2024年の総評議会の機能

総評議会の機能については、総評議会に決定権があるものとする。

2017年10月24日承認



## 総評議員の人数

総評議員の数は、将来的には少なくとも3名を選出するものとする。これは Y A S ; 会憲 101 の変更を意味する。変更後の会憲 101 は次のようになる。

総会議員は、総長と少なくとも~~5名~~3名の総評議員を選出する義務を持つ。いずれの場合も、本会終生誓願宣立者であり、総長は少なくとも35歳以上に達し、終生誓願宣立後少なくとも5年を経ているなければならない。

(Y A S ; 会憲 101)

*2017年10月24日総会にて承認*

出願中の変更箇所は教皇庁奉獻・使徒的生活会省によって承認される。

## 第 23 回総会決議事項の廃止

第 23 回総会の以下の決議事項は、既に完了したか、修道会の現行の生活と精神に反映中であるとし、総会決議事項としては廃止する。

### A. 完了したもの：

1. 修道会の地理的編成上の主要地域
2. 2013 年～2018 年の総評議会の構成
3. 2013 年～2018 年の総評議会の機能
4. 総評議会の任期
5. 修道会のコミュニケーション
6. 24 回総会代表議員に対するガイドライン

2017 年 10 月 24 日廃止

### B. 修道会の続行中の生活と精神に統合されるもの：

1. 総会指針：愛に駆り立てられて
2. 全てを共有する
3. 共同体における個人の成長／生涯養成と初期養成

2017 年 10 月 24 日廃止

# 回状 34/17 より\*

## 第 24 回 総会文書の公布

2017 年 11 月 15 日

総会議員は総評議会に対し、総会指針「愛はすべてを与える」の公布にあたり、特にフランシス教皇の回勅である「ラウダート・シ 共に暮らす家を大切に（2015 年 5 月）」との関係に注意を喚起するよう依頼した。この回勅は、カトリック教会の社会教説に重要な意味を加えるものであり、総会議員が総会指針作成の過程で諸要素を統合するにあたり、絶えず立ち返って考慮に入れたものである。総会議員はこの回勅を「愛はすべてを与える」の理解に役立てるようにと強く勧めている。

\* 回状 34/17: 公式発表

デザイン: パトリシア ストルツ、コミュニケーションコーディネーター